



よしおとみちゃんのおもちゃの運動会

えぶん  
いのうえ  
ちかまなべよしき

あれから五年の月日が経ちました。よしおは、小学校の六年生になって  
いました。と聞いても、このお話は、今からもう四十五年も昔のお話な  
のです。

—

よしおが通っていた学校は、毎朝、集団登校をしていました。集団登校  
とは、近所の子どもたちが集まって、班を作って、みんなでいっしょに学校  
に行くことです。

五年前、一番小さかったよしおも、今では、体も大きくなり、  
「全員、そろったか？さあ、出発するぞー遅れずについて来いよー」

なんて、班長さんが持つ旗を振り回しながら、えいそんな態度をとって  
います。今日は、特に、いびいてるお友です。そねは、この登校班に、新  
しい友達が二人も入ってきたからです。

とすると、まみという兄妹が、東京から、よしおの家の近所に引っ越し  
てきたのです。

